

障害者の権利は 高齢社会の 水先案内人!!

2013年8月22日(木)

13:30~17:00

横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

第一部:講演[講師:大熊由紀子氏(国際医療福祉大学大学院教授)]/第二部:対談

障害者虐待防止の新たな展開

障害をもつ人の日常生活と社会生活を総合的に支援する「障害者総合支援法」と「障害者虐待防止法」が昨年、制定・施行され、本年6月には「障害者差別解消法」が成立。障害者の人権をめぐる大きな節目の時期が訪れています。「障害者権利条約」の批准も間近かと期待されます。

そこで、朝日新聞の論説委員として、また、大学院教授として、障害者や高齢者の権利擁護について数多くの提言をされ、政府の政策転換のきっかけをつくってこられた大熊由紀子さんを講師に迎え、障害者の尊厳や虐待防止等について考えます。

神奈川県障害者権利擁護センター

(KILC)

受託

神奈川県障害者自立生活支援センター

障害者の権利は 高齢社会の水先案内人!! 障害者虐待防止の新たな展開

日時:2013年8月22日(木)13:30~17:00

会場:横浜市健康福祉総合センター 4階ホール

横浜市中区桜木町1-1

TEL:045-201-2060

参加費:無料



■プログラム

— 13:30 —

受付

— 14:00 —

講演「障害者の権利は 高齢社会の水先案内人!!」

講師:大熊由紀子氏

(ジャーナリスト・国際医療福祉大学大学院教授)

— 15:50 —

対談/大熊由紀子氏、鈴木治郎

(神奈川県障害者自立生活支援センター)

テーマ「障害者虐待防止法・差別解消法」は新たな時代を作るか

— 16:40 —

終了予定

●講師紹介 大熊 由紀子 氏

東京大学教養学科で科学史・科学哲学を専攻したのち朝日新聞社に入社。科学部次長を経て、1984年、朝日新聞女性初の論説委員に。主に医療、福祉分野の社説を17年間担当。『「寝たきり老人」のいる国いない国』(ぶどう社)の第1章は、介護保険のメニューになり、30刷を超えるベストセラーに。介護保険制度成立の秘話が評判の『物語・介護保険』(岩波書店)や社説の舞台裏を描いた『福祉が変わる・医療が変わる～日本を変えようとした70の社説+α』(ぶどう社)もロングセラーに。大阪大学大学院教授(ソーシャルサービス論)、日本福祉大学客員教授、介護対策検討会委員、医療審議会委員、国民生活審議会委員などを歴任。2004年より国際医療福祉大学大学院教授。障害者の欠格条項をなくす会共同代表。「医療と福祉、現場と政策を結ぶ志の縁結び係」を名乗って「ゆきえにし」のホームページ <http://www.yuki-enishi.com/> や毎日新聞の「私の社会保障論」でも発信中。

参加お申し込み書

下記項目に事項をご記入の上、下記宛先までFAXでお申し込みいただくか切り取ってご郵送にてお申し込みください

締め切り:8月15日

「障害者の権利は 高齢社会の水先案内人!!」に参加します			
代表者ご氏名	法人・団体名	ご参加人数	名
ご住所	電話番号	E-mail	
参加者のうち車いす利用者	名	介助者	名
テキストデータ(視覚障害者用)を希望する <input type="checkbox"/> ※ <input type="checkbox"/> をチェック ()部		その他、必要な配慮をご記入ください	
宛先 神奈川県障害者自立生活支援センター ご郵送先:〒243-0035 神奈川県厚木市愛甲1-7-6		FAX.046-247-7508 お問い合わせ:TEL:046-247-7503	